

授業科目 東南アジア文化研究特論	単位 2単位
授業担当者 信田敏宏	授業期間 前期
授業の題目と概要 「東南アジアの周縁世界と開発」 東南アジアにおける開発は、先住民や少数民族が暮らす周縁世界にまで及ぶようになり、彼らのコミュニティや民族アイデンティティに多大な影響をもたらしている。本授業では、こうした開発過程の実態を関連文献の批判的読解を通して、受講者の研究地域とも比較しながら全員で議論する。	
授業の内容と計画 授業の前半では、『東南アジア・南アジア 開発の人類学』（信田敏宏・真崎克彦編、明石書店）および『開発の社会史』（長津一史・加藤剛編、風響社）の中から関連する論文を読み進めながら、東南アジアの周縁世界における開発をめぐる諸問題の実態を探っていく。 授業の後半では、受講者と相談しながら開発をめぐる具体的なトピック（例えば、開発に対するコミュニティの対応、生業の変化、社会の階層化、文化的伝統の消滅、民族アイデンティティの変容、先住民運動の展開など）を絞りこみ、英語文献を含む関連文献の読解を進め、本授業のテーマをさらに掘り下げていく。	
使用する参考書、参考論文等 信田敏宏・真崎克彦編『東南アジア・南アジア 開発の人類学』明石書店 長津一史・加藤剛編『開発の社会史』風響社 上記以外の文献については受講者と相談して適宜決めていく。	
成績評価基準 授業への出席、討論への参加度、レポート等によって総合的に判断する。	
その他の留意事項	